

三心を磨く

学校だより No. 13

令和6年2月14日(水)発行

須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇◇◇◇ 「取り残されない」取り組みへ 2月の校長講話より ◇◇◇◇◇

立春が過ぎてからの大雪となりました。昨日は10時の登校となりましたが、皆さんも家で雪かきの手伝いをしたのではないのでしょうか。1年生による新入生説明会も行われました。先輩としての一つの役目が終わりましたね。

貧困、紛争、気候変動、感染症。私達は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなるという危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。SDGs。皆さんもよく知っている目標ですね。ここ数年、マスコミでも多く取り上げられるようになってきました。

気候変動。大きな課題ですね。気温の上昇から海面の氷が減り、シロクマの生存が難しくなっています。ペンギンの生息地も雪や氷が溶けてしまっています。南極です。卵が水没してしまい、ペンギンの生息数が激減しています。北極圏のトナカイです。雪から雨に変わり、食料の調達が難しくなっています。気候変動。主には温暖化ですが、2019年の世界中の気温が、10年前までの気温と比較してどうなっているのかということの色で表した図です。北極、南極、南アフリカ等、かなり上昇している地域があります。地面が干上がってしまっている所もあります。

気温の上昇により、山火事も頻発しています。ここ数年、アメリカで、そしてオーストラリアで大きな山火事がありました。人間の命も失われましたが、多くの野生動物の命も失われました。救助されたコアラのニュースは全世界に配信されましたので、皆さんもこの画像を見たことがあるかもしれませんね。火傷をしてしまったコアラの画像も日本に届きました。気候変動、温暖化はこのままでいくといくら対策をとっても2度は上がってしまうと言われていています。何も対策を取らなければ、4度上昇すると言われていています。この夏は暑かったですね。東京の気温ですが、100年前と比較してみました。100年前の8月の平均気温は27.2℃。この夏は29.2℃。年平均が100年前は14.2℃。この12月までの1年間は17.6℃。3.4℃も上がっているんですね。これから先、人間が生活することができるのでしょうか。考えただけでも恐ろしいですね。気候変動の主な原因として、二酸化炭素濃度の上昇と考えられています。森林破壊が進んでいることもその一因とされていることは、皆さんもよく知っていることかと思えます。

これは何を運んでいるか分かりますか。アフリカのエチオピアという国での光景です。運んでいるのは女性か子どもです。木を伐採して、家庭の調理で使うまきを運んでいるのです。エチオピアでは調理に関わることは全て女性・子どもの仕事となっています。まきを運ぶのも、水を運ぶのも全て女性・子どもの仕事です。自分の家から片道2時間、歩いてまきを買いに来ます。往復4時間歩かないと、森林がないのです。歩いて2時間といいますが、ここから須坂駅を越えたあたりまででしょうか。そんな場所がここだけではありません。至る所で森林は破壊されています。エチオピアの首都、アジスアベバ周辺です。もう



校長講話 令和6年2月7日

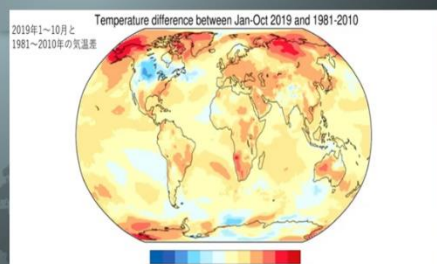


南極に迫る気候危機

融雪によってアデリーペンギンの卵が水没、生息数

雪ではなく、雨が降るようになり、トナカイは冬を生き抜くために必要なコケ類を、十分に食べる事が出来なくなった。

北極圏に迫る気候危機



オーストラリアの森林火災で焼け出され、火傷に苦しむコアラ

